

としょかん

# 図書館だより

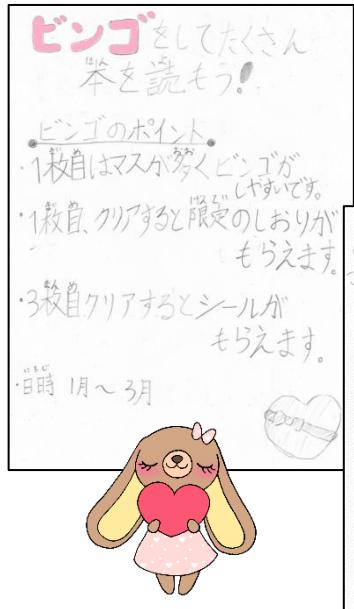
内灘町立清湖小学校

令和8年1月26日

bingo号

## ★bingoをして本をたくさん読もう！★

まだ目標冊数（低100冊・中80冊・高50冊）を達成していない子達の目標達成の後押しに、+1券がたくさんもらえるbingoを図書委員が企画しました。



まいめ  
1枚目のbingo用紙が  
全てうまると  
「限定しおり」がもらえる！

まいすべ  
3枚全ての  
bingo用紙がうまると  
「限定シール」がもらえます。



## ★お正月イベント★

年始の1週間、

図書館でお正月イベントをしました。

- ・図書おみくじや福袋の販売
- ・お年玉5キヨプレゼント

今年も図書館をよろしくお願ひいたします。

## ★図書館落とし物市★

図書館には、しおりやシールなど、図書館からの景品の落とし物がたくさんあります。落とし物入れに入っていますが、持ち主が見つからないため、低価格のキヨで販売することになりました。1月29日木曜市です。

## ★ビブリオバトル★

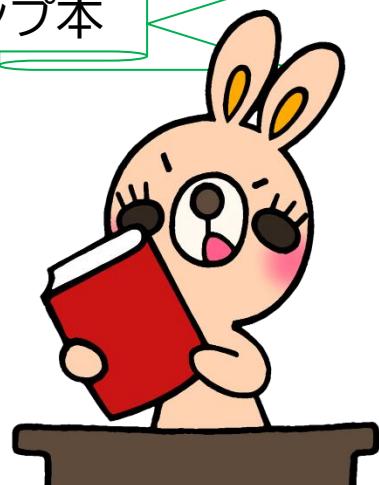
ビブリオバトル高学年の部 チャンプ本

### 「テルトラクエスト」

エミリーロッタ 岩崎書店 2002年

に決まりました！

おめでとうございます！



# ☆家族読書への取組 ありがとうございました☆

冬休みには、家族読書に取り組んでいただき、ありがとうございました。各学年の感想を紹介します ○は児童の感想、●は保護者の方の感想

1年生	本の題名「よくばりないぬ」	
	○よくばりないぬは、いぬが大きなくちで「わん」といつたところがおきにいりです。ライオンとねずみではねずみがライオンとのやくそくをまもって、ほんとうにたすけたことがすごいとおもいました。	●どちらも「ふふっ」と笑える優しいおはなしでした。相手のことをよく見て考えて行動することが優しさにつながるのかなと思いました。
2年生	本の題名「おひさまやのめざましどけい」	
	○ひろしがねぼうして Tシャツを前と後ろ間違えただけでしんごくんがみんなに大声で言ったからいじわるだと思いました。ひろしがおひさまやというお店で、めざましどけいをかったつぎの日から早起きできるようになりました。早起きできたおかげで、みんなにもわらわれなくなって、てんとう虫にも会えたし見たこともない鳥にも会えて、楽しいことがいっぱいあると思いました。	●主人公のひろしくんがいじわるされたり魔法の目覚まし時計を手に入れるところで、「なんでこんなこというのかな?」「この時計うちにもほしいね!」等、一緒に楽しんで読むことができました。
3年生	本の題名「わたしのいちばん あのこの1ばん」	
	○わたしはバイオレットは1番を一つだけと思っているけど、ロージーは1番を一つとは思っていないから、バイオレットとはんたいでロージーは、「いちばん」は1番より「好き」なものだから、バイオレットが休んでいる時、ロージーはいつもバイオレットのおまめちゃんのおせわをしていてわたしもロージーみたいになりました。	●ロージーみたいに自分の好きなこと大切にしたいことをちゃんと大事にできることができがとってもすてき。どうしても人と比べたり、1番がいいとか結果ばかり気にしてしまう。大人になっても。子どもの頃に経験した気持ち嫉妬とか葛藤とか思い出す気がする。こういう絵本にたくさん出会いながらいっぱい色んなことを感じたり考えたりしながらすてきな大人になって欲しいなあと思う。
4年生	本の題名「100万回生きたねこ」	
	○私はこの本を読んで、自分以外の人も大切にすることが大切だと思いました。わけは、主人公のねこは100何回生まれ変わってもかい主の事が好きにならなかった。けれど最後に生まれ変わった時、白いねこに出会って、「好き」という気持ちが芽生えずっといっしょにいたいという気持ちになり、初めてほかのだれかを大切にしたいという気持ちがわかったからもう二度と生まれ変わる事はありませんでした。	●1回目読んだ時は飼い主側の感情に興味がありそうでした。何度も読んでいくうちに自分以外の大切な人がいる事に気づける良い機会だったと思います。お互いが読み合い、お互いの感想を伝え合うって大切だと思いました。
5年生	本の題名「なんにもできなかつたとり」	
	○自分でなんにもできなかつた鳥がお花のために強い風がふいても雪がつもってもお花を守っているところが心に残りました。なんにもできないと鳥は思っていたけど鳥にも出来ることもあると思うし他の生物のために役に立とうと思えるのがすてきだと思いました。	●自分に自信が持てないと時や周りと比べて焦ってしまう時にそっと寄り添ってくれるような温かい気持ちになりました。得意なことや苦手なことは人それぞれなので、自分らしくいること、そのまでいいよと言ってくれるように思いました。
6年生	本の題名「うまれるまえにきめた！」	
	○お家人と読んで私は、生まれる前は「こういうことをしていたんだなあ。」と楽しめだし、最後の『あとがき』というところがあり、その文の最後に「なんでもできる良い子じゃなくて、いいところをのばせる子が一人でも多く増えますように。」という言葉がべつにかんべきじゅなくてもいいんだと思えてとても心に残りました。	●久しぶりに一緒に読んで温かい気持ちになりました。時々娘とけんかのようになります。ママ(私)を選んで産まれてきてくれた奇跡を思い出し、そのことに改めて感謝しています。
アカシア・コラモズ	本の題名「コンガラガっち なにになって すすむ?の本」	
	○どっちにすすむっていうのがいちばんたのしかったです。2つのみちがあってひだりにいけばクッキーをたべまくったはなしだったり、ハロウィンのはなしだったり、3つのはなしがあっておもしろかったです。いちばんはうんどうかいのはなしでした。	●どのみちにすすむかえらぶのも楽しかったですが、どのみちもすすんだらどうなるのか知りたくて、けっきょくぜんぶのみちをよみました。どのみちをすすんでも、こうなるんだというおどろきがあっておもしろかったです。



